

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第1回 所沢市社会的障壁の除去に関するあっせん調整員会（以下、あっせん調整委員会という。）
開 催 日 時	令和7年2月14日（金曜）午後1時から午後2時
開 催 場 所	Web会議（Cisco Webex）
出席者の氏名	高橋 清子、近藤 宏一、古山 周太郎、 前田 宏平 以上4名
欠席者の氏名	越後 節子
議 題	① 委員の顔合わせ及び情報共有 ② 所沢市に寄せられた相談などを基にした事例検討 ③ その他
会 議 資 料	1 会議次第 2 委員名簿 3 所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づく 条例（以下、条例という。） 4 条例施行規則 5 所沢市に寄せられた事例（非公開）
担 当 部 課 名	障害福祉課 一色課長、吉里副主幹、長谷川主査、 橋本主任、加藤主任 こども福祉課 宮武主査 健康管理課 佐藤主査 事務局 福祉部障害福祉課 電話 04-2998-9116

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	開 会
委員	あいさつ
事務局	自己紹介
委員	自己紹介
事務局	—委員長選出— 事務局案として、委員長に古山氏が提案され、全会一致で承認される。
委員	あいさつ
事務局	—確認事項— ・本委員会は原則非公開であるが、本日の会議はその内容から一部公開とする。 ・会議録は、要約方式で発言委員の名を伏せて作成し、委員長の承認によって確定する。
事務局	—配布資料の確認—
事務局	—傍聴人の確認— ・傍聴人はなし。
委員	《議題》 議題（1）「委員の顔合わせ及び情報共有」、事務局より進行願う。
事務局	—各委員から差別・配慮に関連する障害のある人との関わりを交え、1分程度で自己紹介願う— —条例施行規則（あっせん調整員会）の説明—
委員	専門は地域福祉。障害のある方がコミュニティの中でどのように暮らしていくか、グループホームの建設反対運動や、障害者が災害時に避難所から排除されてしまう、といった課題を調査研究してきた。
委員	現在は相談支援事業所の相談員。これまで、重度知的障害者の通所施設やグループホームで支援員をしてきた。相談支援として部屋を探している中で、大家

	さんから入居への抵抗感を感じるがあった。
委員	弁護士をしており、事務所の段差やエレベーターなどについては、気を付けている。社会福祉協議会とも関係があり、そこから法律相談に繋がることもある。また、後見人の分野で関わることもある。
委員	保育園や放課後児童クラブを運営している。0歳から2歳の成長の中で、特性を感じる行動があった場合に、保護者に相談を促すことがある。また、特性がある子について、クラスの子たちとどう受け入れていくか、一緒に勉強しながらやっている。
委員長	— 質疑応答の確認 — — 質問なし — — 非公開部分 —
委員長	議題（3）「その他」として何かあるか。
事務局	本委員会は、あっせん事案が生じた場合、不定期に開催するが、全国的に見てもあっせんの作成まで進んだ事案は非常に少ない。 来年度もあっせん事案がない場合、今回のように2月上旬頃に事例を用いて情報交換・意見共有を行うことを予定している。
委員長	— 質疑応答の確認 —
委員	— 質問① — 今回、事例検討の資料として、障害福祉課の対応が事前に配布されていた。この資料に引っ張られて、意見が出しにくかったのではないか。来年度同様に事例検討をする場合は、この資料を出すか検討されたい。
事務局	いただいた意見を踏まえ、検討する。
委員長	— 質疑応答終了 —
委員長	本日の議事を終了とする。 本日の会議で出された意見については、委員会の意見として事務局にお渡しする。

以上で、閉会となる。